

| 1-1 建物概要 |                      | 1-2 外観 |                 |
|----------|----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)ホリスター本厚木パークサイド計画 | 階数     | 地上15F           |
| 建設地      | 厚木市寿町2丁目1806-9       | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 商業地域、防火地域            | 平均居住人員 | 472 人           |
| 気候区分     | 地域区分                 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年      |
| 建物用途     | 集合住宅                 | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2015年3月 予定           | 評価の実施日 | 2013年10月1日      |
| 敷地面積     | 2,318 m <sup>2</sup> | 作成者    | 株式会社長谷工コーポレーション |
| 建築面積     | 942 m <sup>2</sup>   | 確認日    | 2013年10月1日      |
| 延床面積     | 9,771 m <sup>2</sup> | 確認者    | 株式会社長谷工コーポレーション |



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項  |  |
|---|--|
| <b>総合</b><br>パルコ側はほぼ全面にガラス手摺を採用することで圧迫感を低減し、周囲の環境への配慮に努めた。外壁はアースカラーを採用し落ち着いたファサードとした。           | <b>その他</b><br>0  |
| <b>Q1 室内環境</b><br>・省エネルギー等級3相当の断熱を施した。<br>・住戸には庇及びカーテンレール設置。<br>・化学汚染物質は最高ランクのF の部材を70%以上採用とする。 | <b>Q2 サービス性能</b><br>・高耐久ステンレス給水システム、更新対応排水システムの採用。<br>・内装材の配慮をはじめとして、安心して住める住空間計画に努めた。 |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>・全ての住戸が二面以上の外皮に面する計画とし、自然エネルギーの直接利用に配慮。<br>・潜熱回収型給湯器の採用。                    | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>・二重天井・二重壁により仕上げ等と躯体が容易に分離可能。<br>・リサイクル材を採用し、非再生性資源使用量の削減に努めた。   |
|   | <b>Q3 室外環境 (敷地内)</b><br>・建物を道路境界からセットバックし、プライバシーを考慮した計画とした。                            |
|   | <b>LR3 敷地外環境</b><br>建築物利用者に対する適量の駐車場・自転車置場を確保し、周辺道路の渋滞・路上駐車等の抑制に努めた。                   |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される